

「団塊世代・元気高齢者地域活性化推進協議会」

最終報告書

～高齢者が主体となって豊かな地域社会をつくる～

平成 22 年 3 月



東京都福祉保健局

「団塊世代・元気高齢者地域活性化推進協議会」最終報告書に当たって

- 東京都においても、今後高齢者人口は急増し、団塊の世代が65歳以上となる平成27年(2015年)には、都民のおよそ4人に1人が65歳以上となることが予測されている。
- 団塊世代・元気高齢者地域活性化推進協議会(以下「本協議会」という。)は、このような東京都における超高齢社会の到来に備えて、団塊の世代をはじめとしたこれから高齢期を迎える方々や、元気な高齢者の方々が、自らの豊かな知識や経験・技術を活かして、地域の高齢者福祉をはじめとした福祉保健の多様な分野の活動に参加し、地域を支える担い手として活躍することで、地域を活性化するための仕組みづくりを検討・提案することを目的に平成20年7月に発足した。
- 本協議会は、平成20年度より計9回にわたる会議を重ね、団塊世代や元気な高齢者の多様な社会参加を促進し、高齢者による地域を活性化するための仕組みづくりに向けての課題や具体的な事業展開について活発な議論を行ってきた。
- 平成21年3月には、「中間のまとめ」として、地域の課題の整理や現状分析、団塊世代を取り巻く環境や、高齢者が積極的に地域活動に参加するためのポイントをまとめ、団塊世代や元気な高齢者による地域活性化の仕組みについての課題と意見を整理したところである。
- 最終報告書は、中間のまとめにおいて検討すべきとされた課題と、中間のまとめの後に行った議論を含めて、本協議会における全体の議論を取りまとめたものである。
- 本報告書が、今後団塊の世代をはじめとする高齢者が主体となって、各地域において豊かな地域社会をつくる契機の一助になれば幸いである。

団塊世代・元気高齢者地域活性化推進協議会

会長 宮城 孝

「団塊世代・元気高齢者地域活性化推進協議会」最終報告書 目次

第1章 東京都の高齢者を取り巻く状況	1
1 超高齢社会の到来	1
2 地域社会の支え合い機能の低下	4
3 元気でいきいきと暮らす団塊の世代や元気な高齢者の存在	6
4 地域で活躍する多様な団体・組織の存在	8
5 団塊の世代や元気な高齢者の社会参加に対する意欲と地域の期待	14
第2章 「新しい高齢者」の存在と地域を支える力	17
1 地域の社会構造の変化	17
2 地域社会における「互助」の重要性	18
3 東京の強みは元気で活力に溢れる高齢者と多様な地域資源	20
4 地域活性化の推進役として期待される「新しい高齢者」	21
5 「新しい高齢者」の存在と地域を支える力の充実	22
第3章 団塊の世代や元気な高齢者が主体となって 地域を活性化していくために	23
1 意識や理解度によって異なる地域活動の参加状況	23
2 団塊の世代や元気な高齢者を地域活動へ導くアプローチ	25
第4章 【第1ステップ】「地域デビュー」のすすめ	29
1 第一歩を踏み出すために	30
2 参加促進に向けた課題と行政・地域の取組	31
3 取組の効果	44
第5章 【第2ステップ】「地域の担い手」として地域を支える存在に	46
1 社会貢献活動参加の意義	47
2 地域における新しい取組	48
3 参加促進に向けた課題と行政・地域の取組	52
4 取組の効果	68
終わりに	70
資料編	71